

SAKUYO GAKUEN NEWS

作陽学園報

くらしき作陽大学/作陽音楽短期大学/岡山県作陽高等学校



松田英毅理事長が平成26年度「倉敷市文化章」を受章。

「倉敷市文化章」は、倉敷市の地域文化向上に功績があった市民やゆかりの人をたたえるもので、贈呈式が11月3日(月・祝)倉敷市役所にて執り行われました。

倉敷市文化章は1948年に創設され、松田理事長で70人目の受賞となります。



- 第18回翔陽祭、作陽キッズ
キャンパス2014 開催…2頁
- 「倉敷市文化章をいただき」…3頁
学校法人作陽学園
理事長 松田英毅
- 「松田藤子記念ホールのご案内」
……………4～5頁
- 「地(知)の拠点整備事業」に採択されました
「さくよう子育てカレッジ」開設! ……6頁
- 「演奏芸術センターより報告のご案内」…6頁
演奏芸術センター長
山下耕司
- 「最近のセンター諸活動」…7頁
商品開発交流研究センター長
原田節也
- 「子ども教育研究センターの役割と活動」…7頁
子ども教育研究センター長
宮里智恵
- 「大学院音楽研究科より皆さまへ」…8頁
大学院
音楽研究科長 竹内京子
- 「未来会議 With You」誕生…8頁
作陽音楽短期大学
音楽学科長 上甲廣文
- 「岡山県作陽高等学校」
……………9～11頁
- 「来年度からの新制度に向けて」…12頁
くらしき作陽大学附属幼稚園
副園長 妹島三絵
- 鶴声会だより・翠会だより・
高校同窓会・在学生の声
……………13～14頁
- 演奏会のご案内 ……15頁

発行所

学校法人作陽学園

岡山県倉敷市玉島長尾3515 TEL.086・523・0888(代)

10月11日(土)～12日(日)の2日間で開催した“第18回 翔陽祭”のテーマは「TRIANGLE ～3つの集い～」。音楽・食文化・子ども教育、3学部の繋がりを交流をより深めたい！という翔陽祭実行委員の熱い思いが込められました。13日(祝・月)は台風の影響により全イベントを中止させていただきましたが、模擬店や多彩なステージイベントなどを通じ、学生や翔陽祭にお越しいただいた皆さまにお楽しみいただきました。

“第18回 翔陽祭”開催!



“作陽キッズキャンパス 2014”開催!



10月19日(日)“さくよう子育てカレッジ”開設を記念し、地域の子どもたちや保護者、ご家族の方々を対象としたイベント“作陽キッズキャンパス2014”が開催されました。当日は1,000名を超えるお客様に参加いただき、3学部の特色を活かした体験型プログラムを中心に、子ども向けコンサートや人形劇、キャンパスランチなどでお楽しみいただきました。



倉敷市文化章をいただいで

理事長

まつ だ ひで き
松 田 英 毅



このたび、栄えある倉敷市文化章をいただきました。作陽学園を代表していただいたものであり、学園関係者すべての人とともに喜びをわかちあいたいと思います。

学園関係者はもとより、倉敷市、津山市両市民をはじめ、倉敷市役所や倉敷市文化振興財団の職員の方々、さらにはモスクワ音楽院とチャイコフスキー国際コンクール入賞者連盟の方々の本学に対する大きなご支援があったからであり、心から感謝したいと思います。

平成8年に、大学と短大が倉敷の現キャンパスに移転しました。それまで、大学の発展を親身になり応援して下さった多くの津山市民の方々への申し訳ない気持ちと、私学存続の為にやらねばならないというジレンマの中での決断でありました。そんな中で、学生アパートの大家さんはじめ多くの市民の人たちから、将来を考えての決断であるなら南へ出て頑張れ、という声援をいただきましたことは、何よりもありがたいことでありました。

倉敷の現キャンパスは、所有者が200名ほどの山や畑でありました。これを短期間に買収し、造成せねばなりません。一人でも反対されれば造成できません。先祖伝来の土地を簡単に手離すことは容易ではありません。それを市のため、学校のためとして、短期間のうちに全ての持主に賛同いただき造成できました。勿論その陰には、市の大規模プロジェクトの方々の、夜を徹した交渉があったのはいうまでもありません。校舎群は勿論、キャンパス全体の設計は、日本を代表する建築家吉村順三氏によるもので、見事なキャンパスが完成しました。

開学は平成8年4月1日でしたが、その前日に移転開学を記念して植樹祭がおこなわれました。春の小雨の中でしたが、大学周辺の住民と市役所の方々200名程で行いました。倉敷市の大規模プロジェクトの方が、津山で採れたドングリの実と倉敷に実ったドングリの実を10センチメートル程の苗木にしたものを植樹し、「倉敷の森」「津山の森」の看板を掛けました。これは、これ迄の津山での作陽の成長を見守られた津山市民と、これからの大学の発展を倉敷市民と仲良く見守ろうではないかとの意味がこめられたものでした。今や10メートル程になったドングリの森は、幼稚園児のドングリの実拾いの格好の場所になっています。

開学1年程前でしたか、当時の渡邊市長から、市民の喜ぶことをやってもらいたいとの要望を受け、公開講座をやることにしました。開学当時は20世紀末に当り、社会はいわゆる世紀末の不安にかられていましたので、いきいきとした新しい21世紀を創る夢を倉敷から発信しようと「百人百話」を始めました。この名称は、大学の近くの百百^{どどう}という地名によりますが、その道の専門家として活躍されておられる百人の方たちに話をさせていただきました。5年かかって百回の講座を終了しましたが、延べ2万人の方に聴講していただきました。平均しますと、1回当たり200名となり、「百人百話」は大変好評であったと思われます。

2004年3月に2週間にわたり「第5回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」が本学の藤花楽堂をメイン会場にして行われました。これは、本学にモスクワ音楽院特別演奏コースがあり、モスクワ音楽院と強い連携があることとチャイコフスキー国際コンクール入賞者連盟とも強いつながりがある縁で開催することができました。世界中から、18才未満の一次審査をパスしたすぐれた子どものピアノ、ヴァイオリン、チェロ奏者約150名が倉敷に集まり、世界的な音楽家、演奏家の審査員の前で演奏がくりひろげられました。倉敷市役所、くらしき作陽大学の教職員や音楽関係の市民500名程のボランティアの人たちにより、スムーズにコンクールは進められたのでした。世界から集まった小さい音楽家は、ボランティアの家庭に滞在したこともあり、懐かしい思い出のコンクールでありました。

倉敷市文化章は、理事長個人がいただいたというより、作陽学園がいただいたものであると思っています。これからの学園は、より一層、倉敷市の文化向上と発展のために尽力せねばならないことはいうまでもありません。倉敷市から誘致していただいたのも、市の活性化と発展にいきさかでも役立つためであります。このたび本学が文科省の「地（知）の拠点整備事業」に選ばれたことは絶好の機会であり、大学の教育、研究と地域貢献活動を一体的に進め、若者があふれて、倉敷を愛する、町づくりのために尽くしたいと考えています。

さらには、日本社会のあるいは世界人類の真の発展のためには、本学の使命である菩薩道を歩むプロの養成を徹底せねばなりません。快適で便利な、経済的に豊かな文明社会を創っている西洋科学技術文明は人類の破滅を早める恐れがあると思われます。これを回避し、人類が真に発展する文明を創る思想が仏教にあると思います。自利に偏った現代文明から自利、利他一如の文明へ。そのために菩薩道を歩む人の育成がなされねばなりません。それは、慈悲と智慧のある人の育成です。今まさに本学の使命の徹底が待たれているのです。日本の、地球人類の真の文明社会の発展を倉敷から発信したいものです。

松田藤子記念ホールのご案内

創立者に学ぶ

作陽学園創立者の松田藤子先生（1899-1989）は、大正から昭和初期にかけての芸術家としてその美術力・手芸力は技芸の世界の最高峰に位置していた方です。先生は、31歳で大乘仏教の教義に由来する宗教的情操教育を行うことを建学の精神とした作陽学園を創立し、以来、校長・学長職の傍ら日本最長といわれる57年間学園長職を務められました。

傑出した女流教育家であり仏教研究者でもあったその一生は、宗教的情操教育の先駆者として、また、教育の地方の時代のパイオニアとして「智慧と慈悲の教育」の実践に生命を捧げてゆかれたのです。

今年は松田藤子先生生誕115年の節目に当たります。科学技術文明社会が世界的規模で混沌化していく今日、私たちは、その偉業を顕彰するとともに、藤子先生が説き続けられた真実教、建学の精神の真髄、慈悲の教育思想などを学び直さなければなりません。そのためには、学生たちや地域の方々のほか国内外の研究者たちが「作陽学（自校学）」として学ぶことのできる場を提供する必要があります。



学園創立者 松田藤子先生

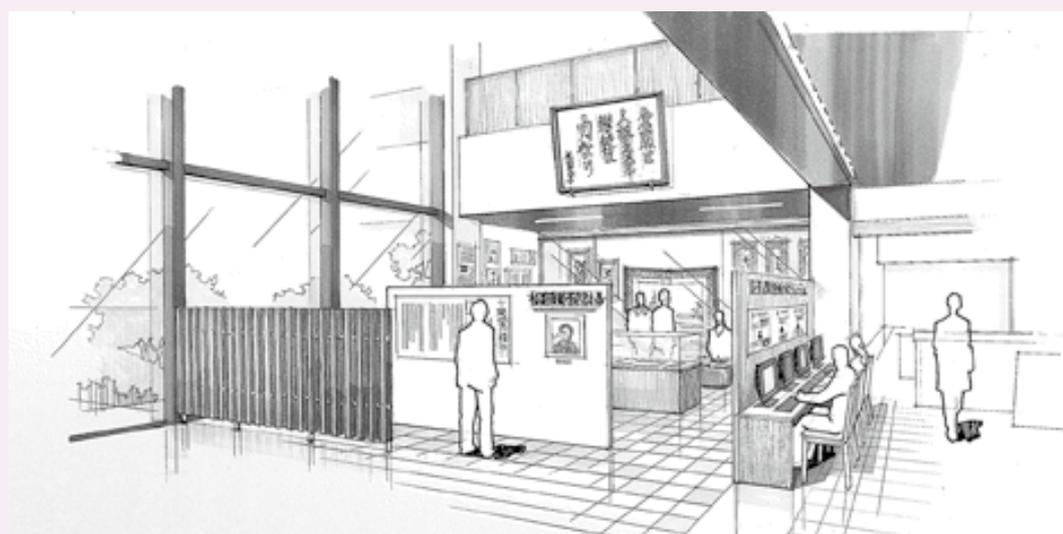


図 松田藤子記念ホール（イメージ）

作陽学園では、図書館（8号館）一階ホールに「松田藤子記念ホール」（イメージ図参照。以下「記念ホール」という。）を設けることにし、年内のオープンに向けて現在その準備を進めております。

主な展示品

記念ホールには藤子先生制作の美術手芸作品、年譜、教えのことば、数々のエピソードのほか遺品類などを展示します。本欄では、主な展示品を簡単にご紹介します。

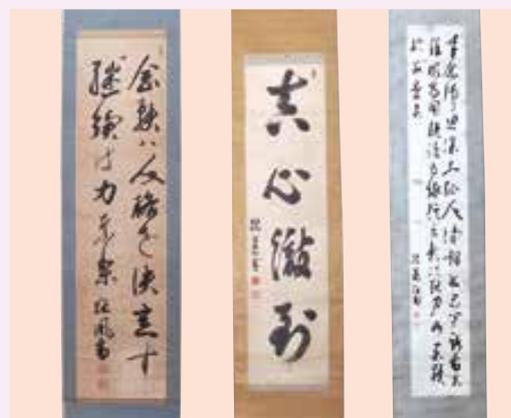
○美術作品（日本刺繍） ホール正面奥のガラス展示ケース（W6000・H2300）には、松田藤子先生が昭和初期に制作された「屏風絵」「ちんと毬」「虎」等の美術作品（日本刺繍）、住岡夜晃師揮毫の掛軸などを展示します。



「屏風絵」（二曲一双）は高い手芸技術で制作された日本刺繍作品です。昇る朝陽に照らされるお城と松林、城下に広がる朝霧などが美しく鮮明に描かれております。また、「ちんと毬」と「虎」も日本刺繍超一級品と評価されている作品です。いずれも松葉や動物の毛の一本一本

が精緻に縫いこまれており観る者が息を詰まらせて感動する作品です。

○掛軸類 掛軸は、藤子先生が善知識である住岡夜晃師から直々に賜った書です。一つは校訓・学是となり、他は宗教講話や会座での教材（聖賢の教え）として使われたものです。ちなみに、書の典拠は、写真中央の書が『高僧和讃』の善導大師章、右端の書が親鸞聖人の『教行信証』の一節であり、いずれも住岡夜晃師が揮毫したものです。



○略年譜 ホール入口の衝立には、藤子先生の「建学の精神」や「年譜」などを掲示します。「略年譜」の「前史」では、親鸞聖人の弟子（佐々木四郎高綱）を遠祖とする松田家（島津藩武術指南）のご先祖の事跡をご紹介します、続いてご出生からご環浄までを記録しています。藤子先生の信仰史や思想史、あるいは教育経営史の概要も学べるようにまとめています。

○教え・写真類 記念ホールの壁や衝立には、藤子先生の教えを語録集やお言葉集にして展示します。さらに、学園創立有縁の人々、学び舎の変遷などの写真類も展示します。教員や教え子たちとの集合写真や演劇活動など多くの写真を写真帳数冊に収めて展示します。

○遺品類 ガラスケースには、藤子先生の遺品類（一部）として、仏典研究の初期に綴られた『信仰乃醒』（22歳ころ）、自著4冊（『人生の聖化』『真理への道』『聖光』『まなびのしおり』）、教え子への手紙（直筆）などのほか、津山市名誉市民表彰や三木記念賞の各メダル類を展示しております。



「松田藤子記念ホール」へのご来館・ご観覧をお待ちいたしております。なお、展示等に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

くらしき作陽大学 事務局 経営企画部 山下 ☎086-436-0274
〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾 3515

文部科学省
地(知)の拠点

平成 26 年度 文部科学省
「地 (知) の拠点整備事業」 に採択

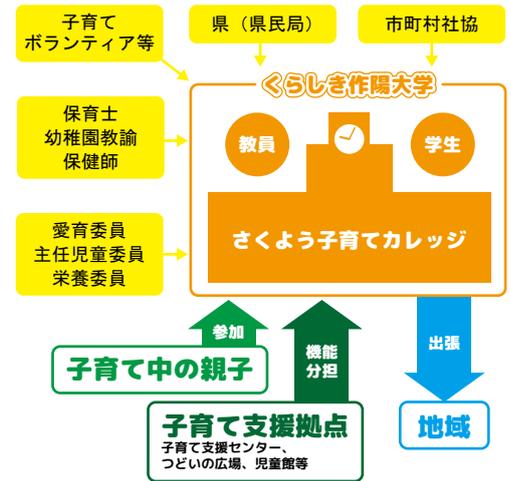
この度本学は、平成 26 年度「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)の採択大学として、「文化産業都市倉敷の未来を拓く若衆育成と大学連携モデル創出事業」を始めました。この取り組みは、倉敷芸術科学大学との共同事業であり、2 大学が倉敷市のまちづくりのビジョンを地域・市民と共有しながら、学生の人材育成、研究活動の活性化、積極的な社会貢献を一体的に達成することを目的としています。



11 月 19 日(水)には、倉敷市長や地域の有識者を招いてのキックオフ・ミーティングを大原美術館にて開催し、200 名を超える参加者とパネルディスカッション等を通して意見交換を行いつつ、関係者間の連携構築を確認しました。今後、事業への参加学生の増加や取り組みの質的発展によって、学生の学びの深まりや倉敷の活性化への貢献といった大きな効果が期待されます。

**子育てを応援します
「さくよう子育てカレッジ」
開設！**

岡山県(備中県民局)が提唱・推進する、大学のもつ専門知識、教員・学生やそのネットワーク、施設等を有効活用して行う、大学・地域・行政の協働による地域ぐるみの子育て支援の拠点として、くらしき作陽大学内に「さくよう子育てカレッジ」を開設いたしました。



さくよう子育てカレッジ イメージ図

演奏芸術センターより報告とご案内

演奏芸術センター長
山下 耕 司



平素はセンターの活動にご理解を賜りありがとうございます。今年の夏には広島土砂災害、御岳山の噴火、台風18号、19号による様々な災害があり、今から約800年以前に鴨長明が「方丈記」に綴った、自然の猛威に翻弄される人間の宿命を感じさせられました。さて、センターでは今年度も数多くの演奏会等を企画いたしました。10月までの主な演奏会についてご報告します。まずは作陽の看板コンサートになりつつある「ファカルティコンサート」の先陣を切って開催されましたカーター先生(Cl.)のリサイタル(4月25日)ですが、最後のプログラムにはご友人、J.ハミル氏(東京交響楽団Hr.首席)をお招きし、プーランクの代表作「六重奏曲」が演奏されました。軽妙洒落なフランスの香気溢れるステージとなりました。5月には世界でも指折りのテクニシャンであるタルケヴィ氏(Tp.)によるソロと学生とのアンサンブルによる演奏会で、藤花楽堂に割れんばかりの拍手が鳴り響き、続く23日には土居先生(Pf.)のリサイタルが開催され、圧倒的なスクリーバンの5番のソナタで幕を閉じました。6月には台湾の桃園県立中興中学管弦楽団、岡山城東高校そして

作陽との交流コンサートが行われ、藤花楽堂は若者の熱いエネルギーで満ち溢れました。7月には恒例の「作品の夕べ」、9月18日には藝高、岡山城東高校、作陽による今年2回目の交流コンサートが催され、緻密なアンサンブルと、最後を締めくくった合同オーケストラ約100名、合唱200名による「大地讃頌」はまさに圧巻で、早朝から準備に馳せ参じたスタッフ、生徒と共に感無量でした。同月の26日には居川先生のリサイタルが開かれ、10月18日には47回目となる大学定期演奏会が、今年着任された新進気鋭の吉田誠氏を指揮者としてお迎えし、「新世界より」をメインに素晴らしい演奏が繰り上げられました。今後の予定ですが(10月末の時点)、11月30日には森悠子、12月23日には長瀬敏和、2月8日には渡邊康雄、さらに3月8日には菅付章宏の諸先生方によるファカルティコンサートと、1月25日にはテレビでもおなじみの宮川彬良氏にタクトをお渡しして、作陽ウインドフィルハーモニー特別演奏会が行われます。また2月13日には岡山のルネスホールにて「長岡京アンサンブル」のコンサートも企画しております。お忙しいことは存じますが、是非作陽の学生と教員が織りなす演奏会にお出でかけいただき、音楽の素晴らしさをご堪能下さいますよう、心よりお待ち申し上げます。



第47回くらしき作陽大学管弦楽団定期演奏会

最近のセンター諸活動

商品開発交流研究センター長
原 田 節 也



経済産業省、農林水産省では、それぞれ農商工連携（平成20年施行）や6次産業化推進に向けた六次化法（平成22年施行）を進めつつあります。また、文部科学省でも大学を地域の知の拠点として位置づけ、社会貢献に機能させるべくCOC事業が展開され、地域に立地する大学の知と技術の発信に熱いまなざしが注がれています。商品開発交流研究センターでも地域貢献や学生の社会貢献実践を支援する機関として、地元企業と連携した新商品開発や健全な食生活実現に向けた各種の食育活動を支援してきました。

最近の取り組みの一端をご紹介します、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻をたまわりたいと願っております。

（1）地元の各種イベントへの参加を通じた社会貢献

食文化学部で行われている授業「商品開発実習」やゼミ活動の学修成果をもとに、学生が自ら商品開発し、それを販売する実践活動の一環として、地元、玉島で開催されるイベントに参加し、次の販売実践活動を行いました。

玉島産ばぁ〜カーニバルへの参加

本年5月18日に行われた表記の催しに、樋口ゼミの学生達

が玉島産「もがい」を使った炊き込みごはんを販売し、あっという間に用意した百食分が売り切れる盛況でした。また、同カーニバルは稲作りと米食の大切さを訴える催しでもあったため、お米についてのパネルを作成し、啓蒙を図りました。

玉ちゃん文化祭への参加

玉島の一大イベントとなっている8月2日開催の玉島文化祭に、商品開発実習の学修成果を携えて、受講生10名、教員（河村他3名）の計14名が参加しました。出店商品は、①フー子を作るユズ子と彼（カレー）のビーフ丼、②DHAまん（DHA入りおやき）、③おから娘とおから部長（おからを使ったビスケット）、④ジャイアントカボチャジャム in マカロンの4商品を販売しました。学生ならではのユニークな商品名と工夫された製造もあって、すべて短時間に完売し、学生達の意気も盛り上がりました。

（2）市民公開講座「DHAと健康」の開催

フードスペシャリスト協会の助成金を得て、本大学との共催で8月30日に表記公開講座を開催し、70名の市民参加を得て盛況でした。講演は万倉教授に表記演題でお願いし、講演終了後、本大学のヘルスケアレストランの全面的協力を得て、DHAを使った料理を参加者に試食してもらい、アンケートを実施しました。アンケート調査の結果からは、講演について「ためになった」の回答率が98.5%と高く、料理についても食事の美味しさ評価で5段階評価の4.7の高評価を得ました。



「子ども教育研究センター」の役割と活動

子ども教育研究センター長
宮 里 智 恵



「子ども教育研究センター」は、「研修セミナーの開催」と「さくよう森の広場 どんぐりっこの開催」の2つの事業を柱に、幅広い地域貢献と本学学生の資質向上をめざして取り組んでいます。

I 研修セミナーの開催

近隣の保育者、教師、関連機関の職員の方、本学学生などが多様な子育て支援の実践を学ぶ機会として、現場の第一線で活躍されている専門家を招聘し、例えば以下のような講座を開いています。

①子育て支援講座「野歩さんの遊びセミナー」

講師の福尾野歩先生は子育てに関するコンサートや講演、セミナー等を全国的に展開され、手遊び、伝承遊び、さまざまな楽器の奏法と保育への展開例、保育教材の活用方法などについて積極的に発信されています。本セミナーに毎年来学して頂いていますが、先生の明るく温かいお人柄に、受講生にはリピーターも多い人気の講座です。

②教育講演会「私が歩んだ道ー見えないから見えたものー」

講師の竹内昌彦先生は、長年、岡山県立岡山盲学校に勤務された方です。ご自身の体験をもとに話された「生まれてき

たとき、子どもの心は真っ白です。そこにどういう生き方を描くか、それは親の姿勢と教師の指導力に掛かっています」という先生のお言葉は、子どもの保育や教育に携わる全ての聴衆の胸を打つ迫真のメッセージでした。この講演会は学生からの要望で実現したものです。

この他、子どもの造形表現や特別支援教育に関する講演会などを予定しているところです。

II 「さくよう森の広場 どんぐりっこ」

「さくよう森の広場 どんぐりっこ」は倉敷市から委託された地域子育て支援事業として開設されました。0歳から3歳くらいの乳幼児とその保護者が気軽に集い、交流したり育児相談などを利用したりすることによって、子育てへの負担感を減らし、子育てを楽しみながら親子が共に育つ取り組みを行っています。会場は本学附属幼稚園の1室で、月・木・金の週3回、10:00～15:00に開いています。現場経験のある教員や保育士に加え学生ボランティアなども活躍しており、毎回15～40組の参加があります。昨年度、保護者対象のアンケート調査を行いました。高い満足度を頂きました。また、参加した本学学生にも成長への実感があり、「さくよう森の広場 どんぐりっこ」は地域貢献と学生の資質向上に欠かせない場となっています。

今後は「さくよう子育てカレッジ」とも連携し、一層の発展をめざしていく所存です。皆様のご協力をよろしく願います。



大学院音楽研究科より皆さまへ

大学院
音楽研究科長

たけ うち きょう こ
竹 内 京 子



皆さま、お元気でいらっしゃいますか。お蔭様で、大学院音楽研究科有志によります恒例の『大学院サマーコンサート』を盛会裏に終えることができました。心より厚く御礼を申し上げます。本コンサート開催2週間前にあたる7月中旬の大変に暑い中、院生達は近隣の住宅一軒一軒を訪問し、集客に努めました。その甲斐あってサマーコンサートで初めて本学を訪れ、それ以来様々な演奏会を楽しんでくださる方が増えております。

また、前回ご案内いたしました学内演奏会の模様をYouTubeにアップしてくださっている梁 雯凱氏（本大学院音

楽研究科1年生）の『インターネットを用いたマルチメディアに関する研究』もさらに進んでまいりました。既にお気付きの方もいらっしゃると思いますが、本学ホームページからご視聴いただけるようになっております。音楽学部をクリックしていただきますとTOPICSの中に動画をご覧いただけるものが含まれております。現在、9月26日に藤花楽堂で開催されました『居川寛子ピアノリサイタル』の様相をご視聴いただけます。どうぞお楽しみ下さい。

さて大学院の今後の催しですが、来年2月中旬に以下の演奏会を予定しておりますので、院生の研究の深まりをどうぞお楽しみください。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

<演奏会日程>

2月13日(金)	1年生ピアノ・声楽ハーフリサイタル、 2年生声楽修了演奏会
2月19日(木)	2年生ピアノ修了演奏会
2月20日(金)	1年生管楽器ハーフリサイタル、 2年生箏曲修了演奏会
2月22日(日)	2年生指揮・声楽修了演奏会『カヴァレリア・ルスティカーナ（マスカーニ作曲）』

『未来会議 With You』誕生

作陽音楽短期大学
音楽学科長

じょう こう ひろ ふみ
上 甲 廣 文



作陽秋のキャンパスカラー。それは大学進路沿いにある樹高8メートル、ひたすら天を指し続ける紅葉葉楓の紅緋色です。新緑の季節から8か月が過ぎ、見事に紅葉したシンボ

ルツリーは正に短大生86名の成長ぶりであり、作陽のOnly Oneを見る思いがします。肩から上げた楽器の重みは学生一人一人の夢の重さ。その後ろ姿を見るたびに「負けるなよ」の一言を送り続けています。

さて、みなさんをご存じでしょうか、短期大学に『未来会議』(With You)が誕生したことを。それは、「学生の大学生活満足度100%を目指して学生と教員が授業やレッスン、各種行事等を含む大学生活全般に関する意見交換を行い、作陽音楽短期大学の未来づくりに寄与する。」ことを目的に本年6月に開設されたものです。学生代表者8名と教員11名で構成され、身近な問題から遠い未来までを熱く楽しく語り合っています。

まずは大学HP⇒短期大学⇒『未来会議』をご覧ください。

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学の教育目的

●くらしき作陽大学 目的

本学は、大乘仏教に基づく宗教的情操教育により豊かな人間性を涵養するという建学の精神に則り、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究して、心豊かに生きいきと生きる職業人を育成し、学術の中心として社会の発展に寄与することを目的とする。

【音楽学部の目的】

音楽学部は、建学の精神に基づく人間教育のもとに、音楽に関する質の高い専門性を身につけた心豊かに生きいきと生きる職業人を養成するとともに、国際的な音楽文化の教育研究拠点として地域に貢献することを目的とする。

・音楽学科の目的：国際的な音楽文化の教育研究を通して、音楽に関する豊かな感性と高度な技術とともに、社会性ある音楽家を養成する。

【食文化学部の目的】

食文化学部は、建学の精神に基づく人間教育のもとに、食に関する質の高い専門性を身につけた心豊かに生きいきと生きる職業人を養成するとともに、食文化の教育研究拠点として地域に貢献することを目的とする。

・現代食文化学科の目的：食に関する教育研究を通して、食を総合的に学修した食文化に強い心豊かな栄養士ならびに教員等を養成する。

・栄養学科の目的：食と健康に関する教育研究を通して、健全な未来社会を築くために貢献できる心豊かな管理栄養士を養成する。

【子ども教育学部の目的】

子ども教育学部は、建学の精神に基づく人間教育のもとに、保育と教育及び子育て支援に関する質の高い専門性を身につけた心豊かに生きいきと生きる職業人を養成するとともに、保育と教育及び子育て支援の教育研究拠点として地域に貢献することを目的とする。

・子ども教育学部の目的：保育と教育、子育て支援に関する教育研究を通して、現代の保育・教育現場に求められる高度な専門性と実践力を持った、心豊かな保育・教育等に従事する人材を養成する。

【大学院音楽研究科の目的】

広い視野に立って音楽に関する精深な学識を授け、地域の音楽文化の向上に貢献することのできる高度な専門性を有する人材を養成することを目的とする。

●作陽音楽短期大学 目的

本学は、大乘仏教に基づく宗教的情操教育により豊かな人間性を涵養するという建学の精神に則り、深く専門の学芸を教授研究して、心豊かに生きいきと生きる職業人を育成し、学術の中心として社会の発展に寄与することを目的とする。

【音楽学科の目的】

音楽学科は、建学の精神に基づく人間教育のもと、音楽に関する豊かな感性と専門性を持って地域の文化や教育の向上のため心豊かに生きいきと生きる職業人を養成する。

ワンランク上の充実感と満足度をあなたとともに

社会を正しく生き抜くことができる真の人間力の育成



岡山県作陽高等学校

★ 全国に通用する教育内容と個性の可能性を最大限に引き出す責任指導“智慧の教育”実践校 ★

校長

『自律と自主』

校長 松野 英雄

15歳という年齢は、江戸時代には元服という成人になる儀式があったように、自らを律した正しい振舞いが求められる年齢です。ところで、この自らを律するとはどのようなことでしょうか。

慶應義塾を創設した福沢諭吉は「自由は不自由の中にある」と述べ、「自由と我が儘との境は、他人の妨げをなすとなさざるとの間にあり」と続けています。例えば、遅刻して教室に入れば、授業を受けている他の生徒の気が散ります。「自分の勉強が遅れることで責任をとっているから良いだろう」という主張は、単なる我が儘と言えます。ある人が自由であるためには、自分の行動が他人の迷惑になっていないかとの問いかげを絶やさず、自らを律することが求められます。自律のない自由はあり得ないのです。

もう一方の「自主」とは、自ら考え、行動し、責任を持つという、正に自らが主（ぬし）となる行為です。その一例が自主的な勉強です。ここで、なぜ勉強するのか考えてみましょう。確かに、〇〇大学に入りたいという目標もあると思いますが、もっと先を見据えて、自分がどんな人生を歩みたいのか、将来どのような職業に就きたいのか、それにはどのような資格が必要なのか、どのような学問を修める必要があるのかまで考えて欲しいのです。このような地に足が着いた目標があって、始めて日々の学習に身が入ることになります。高校3年間にただ流れて任せるだけではもったいないはずですよ。

学校では、勉強してもらうため課題も出しますし、やるべき内容の指示もします。しかし、われわれ教職員は、指示をただ待つだけの生徒を作りたくありません。したがって、直接的な指示よりも、皆さんに学問的な刺激を与え続けることに力を尽くしているつもりです。皆さんは、その刺激を契機として全てのことに興味を持ち、これをエネルギーとして自ら学んで欲しいと思います。本校の教員は、このエネルギーを受け止め、方向性を与え、疑問点には誠心誠意応えます。しかし、行動を起こすのは皆さんです。本を読むのもよし、難問を解くことに挑戦するのもよし、友人と議論を戦わせるのもよし、自分は何に興味があり、自分とは何者なのか、これらを探る行動を起こしてください。

学校生活には、日々の授業のほかにHR活動や部活動、生徒会活動があります。これらの活動は、正に皆さんの「やる気」という自主的な取り組みに支えられており、それだけに価値の高いものです。

本校では、各行事が生徒の手によって運営されており、皆さんの自主性を最大限に発揮できる土壌が整っています。エネルギーあふれる皆さんにとって、周囲から刺激を受けつつ活動することは、自らの可能性を発見する絶好の機会であると思います。

いずれにしても、生徒の皆さんが自主・自律の精神のもとに自己の方向性を確立し、学力的にも、人間的にも大きく羽ばたき、成長することを強く願っている次第です。



普通科

- スーパー特進コース
- 特別進学コース
- 進学コース
- 総合教養コース
(IT情報・フードデザイン・こども保育)
- スポーツコース
- ミュージックコース
(音楽デザイン・吹奏楽・演奏芸術)

祝

サッカー部男女全国大会アベック出場決定 応援よろしくお祈りします



Legend Of The Sakuyo Soccer Club 全員で掴んだ栄光 本気で全国 1位 頂きます

2年ぶり22回目の出場おめでとう
第93回全国高等学校サッカー選手権大会



【大会日程】2014年12月30日(火)
～2015年1月12日(月・祝)

7年連続7回目の出場おめでとう
第23回全日本高校女子サッカー選手権大会



【大会日程】2015年1月2日(金)
～2015年1月11日(日)

活躍

2014年度の主な部活動等の実績 よく頑張ってくれています

運動部

柔道部	岡山県高校総体11年連続優勝 中国大会優勝(3回) 金鷲旗第5位 全国高校総体11年連続出場 全国高校選手権団体5位
硬式野球部	春季岡山県高校野球大会 ベスト8 秋季岡山県高校野球大会 ベスト8
ゴルフ部	中国大会個人男女優勝 団体女子8年連続優勝 日本代表としてジュニアワールドカップへ選出
バスケットボール部	美作地区総体3年連続男子優勝 女子準優勝 岡山県高校総体5年連続男子ベスト8
ソフトテニス部	美作地区大会ダブルス男子優勝 女子準優勝 美作地区大会シングルス男子優勝 女子ベスト8

文化部

吹奏楽部	全日本吹奏楽コンクール岡山県大会銀賞 全日本マーチングコンテスト岡山県代表 中国大会出場
------	--

その他

フットサル	中国大会優勝 全国大会出場
ボウリング	岡山県新人選手権大会 準優勝 全国高校総体出場 全国高校選手権出場予定
音楽デザイン	スクールライブショー-西日本グランプリ出場

教務

『平成27年度作陽高校について』 教頭兼教務部長 神田 寿則



授業風景



報恩の日

昨年より、今後の作陽高校はどうあるべきか、どう行動をするのかを教職員で検討してきました。今の作陽に足りないものは何か。評価されている点は何か。また、本校の魅力をより高めるためにはどうしたらよいか。私学フェアや新聞アンケート等でも公立と比べ、私立は生徒に対し、勉強や生徒指導面で熱心な指導をしてくれ、生徒の力を伸ばしてくれるとあります。作陽もちろん保護者の皆様方から信頼をいただいています。中学校の先生方のご息の多くが本校を受験してくださっているのもそのためだと思われま

す。ただ、作陽高校にも問題点はあります。今後問題点の解決と、作陽に来てくれる生徒と保護者の皆様方に、より満足していただき、多くの方の信頼を得るためにも、教職員一人ひとりがより満足度を高める努力をしていきます。

さて、平成27年度より新しいコースが誕生します。コースの検討に当たり本校と他校とのコース・系の違い等多方面から検討しました。多種多様な生徒の希望に応えるためには、多くのコース・系を立ち上げた方がよい。しかし、2～3時間の取り組みでは本当の教育ができるのか？生徒のためになるのか？作陽の良さが失われるのではないかなどを考慮し、現在評価されているS特・特進をはじめとした進学指導、指導者に恵まれ実績を出している体育・音楽の各コース、将来の目標を実践するための総合進学など現コースを多方面から協議し、新たに6つのコースを立ち上げました。S特・特進コースは認知度も高く、より大学進学に向けて取り組みます。実績のある体育コースはスポーツコースに、総合音楽コースはミュージックコースに名称を変更します。総合進学コースにつきましては大幅に変更します。卒業生の努力による多くの指定校を活用し、作陽での努力を進学に生かす進学コース、将来の目標分野に取り組む総合教養コース（IT情報・フードデザイン・こども保育）となりました。今後、本校の教育理念を通し、人間教育の実践により、生徒の生きる力を養って行きます。皆様方の一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

生活

『生活指導の現状』 生活指導部長 野村 雅之



朝の登校指導



朝の清掃活動

平成26年度当初に生活指導部として、次のような指導方針を打ち出しました。

- ① 生徒自身が生徒自身に厳しくなるような指導。
- ② ぶれない生活指導。
- ③ 一生懸命な生徒、真面目に頑張る生徒が生き生きと生活できる雰囲気を作り出す。

その中でも一番重要視しているのが、ひとつ目の「生徒自身が生徒自身に厳しく」という部分です。今は多くの情報を様々な手段により簡単に得られる時代です。そのこともあり、各個人、各家庭の価値観が多様化してきています。「個性を大事にする」ということと「協調性」のバランスを考えて、行動をとることが必要です。

高校生が社会に出れば、さらに多くの情報や価値観と出会うようになります。その上で自分が決断をして行動しなければいけない場面が多くあります。その際に最も大切にしてもらいたいことが、その場に応じて自分のとるべき行動を考えて決め、その後「自分自身に嘘をつかない」ということです。

私たちは、油断するとつい自分に甘えが出て楽なほうへと流されがちです。本心では分かっている、言い訳を作り自分の欲のままに行動をとってしまうことがあります。今年度の生活指導部では、最初に生徒に社会規範を守る大切さを理解させるようします。その上で生徒と約束をします。この約束を生徒自身の意志で守らせるよう指導をします。自分の意志で、自分でした約束を守らせる習慣をつけることが重要だと考えています。「まず状況を理解し、そして意思決定をし、実行し自分に嘘つくことなくやり通す」というサイクルを獲得させたいと思います。このことが、将来自分で決めたことをやり遂げることにつながるのではないかと考えています。

生活指導とは、生徒が世のため人のために行動できる人物となるための土台づくりだと考えています。生徒たちの将来のことを見据えて、厳しくまた温かく指導していきます。

進路

『進路指導に向けて』 進路指導部長 杉本 哲也



基礎学力強化
語彙読解力検定



夏の学力強化合宿
in 作州武蔵

2014年度3月末の岡山県における新規卒卒者の就職決定率が98.9%と前年を0.3ポイント上回るなか、本校の就職決定率は100%でした。担任の先生方をはじめ教職員のきめ細やかな指導の賜物と思います。しかしながら、この数値にはフリーターのまま卒業した生徒が少なからず含まれており、今後はこのフリーターを選択する生徒をいかに就職等に導いていくかが大きな課題となると考えております。また、進学状況についても98%の高い進学決定率となりました。生徒一人ひとりの頑張りに加え、国語科教員をはじめ進学に携わる多くの教員が遅くまで生徒一人一人に寄り添った結果だと思っています。

さて、本年度の進路状況ですが、7月末現在の新規高卒者への求人倍率が1.10倍と前年同期比で0.23ポイント上回っていることからわかるように、本校においても求人数は前年度比1.5倍となっています。しかしながら、就職希望者数が昨年度を大きく上回り、生徒の希望職種、希望地域などのマッチングが難しいことなど一喜一憂する状況となっています。

進学については昨年度の反省を活かしながら新たに勉強合宿先の変更に伴い、学習メニューの改善をはかるなど少しでも生徒のニーズにあった進学指導体制を目指して努力しているところです。特に本年度から新学習指導要領にもとづく最初の学年ということもあり、教職員も日々研鑽をしているところです。今後とも伝統に立脚した確かな進路指導につとめ、とことん粘り強く生徒に寄り添う指導を心がけ、生徒一人ひとりの夢を叶えるために教員一致結束して取り組んでまいりたいと思います。

生徒会

『自主の精神で取り組む生徒会活動』 生徒会顧問 山本 哲裕



清陵祭 (文化の部)



清陵祭 (体育の部)

作陽高校最大のイベントである清陵祭が9月7日・11日に行われました。30回目の節目となる今年度の清陵祭テーマは「今、ひとつになるとき 咲くよ作陽、オレらの花!!」で、このテーマ通りに生徒・教員・保護者が一体となりみんなを笑顔にして、また自らもとても楽しみ、清陵祭は大成功をおさめることができました。今回も作陽のみに留まらず、多くの方の力を借りて、ごんご祭り・商店街パレードなどを通して津山の街も巻き込み盛り上げていくことができました。当日には保護者の皆様をはじめとして大変多くの方々に足をお運びいただくとともに、多大なるご協力を賜り、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

本年度の清陵祭でも生徒会主催で、文化の部の前日から前夜祭イベントとしてカラオケ大会の開催や新企画のオリジナルTシャツコンテストなどの取り組みも行い、一段と盛り上げていくことができました。この企画を通してクラスや各ブロック、部の仲間達とより一層団結することができていました。そしてその力を清陵祭当日でも発揮できていて、今回の清陵祭を盛り上げる事ができた大きな企画となりました。

この清陵祭は生徒にとって高校生活での大きな思い出の1つであり、また自分たちで多くの事を考え、行動することで成長に繋げていくことができる場でもあります。そのためには保護者、地域の方々のお力添えが必要になる事も多くあると思います。年々良いものになっている清陵祭をこれからももっと盛り上げていけるように努めてまいりますので、これからもよろしくお祈りいたします。

渉外部

『岡山県北・津山・美作・真庭・全国から信頼される地域一番校を目指して』 渉外部長 藤井 崇広

Sakuyo
High School Guide 2015
新1年生207名
(内専願生186名)
全校生徒646名
岡山県立作陽高等学校

“やっぱり作陽でよかった”
作陽高校が誇る教育力と責務指導
Sakuyo Data 2014

ホームページが新しくなりました
タイムリーな情報を紹介しています

平成26年度入学生対象の入試では、受験生が728名で、専願合格者が186名、入学者が207名という結果となりました。平成26年4月、全校生徒646名(19名増加)で新年度のスタートを切ることができました。作陽の教育力を信頼していただいている、すべての方々のおかげだと感謝しております。

さて、岡山県北32校に在籍する中学校3年生の人数は、依然減少傾向が続いており、男女合わせて約2,100名(約123減)となっております。岡山県立高校の募集定員等の微減が見られるものの、私学作陽の生徒募集を取り巻く環境は、一層厳しいものとなっております。渉外部では、募集定員250名確保を目標に、生徒確保に邁進してまいります。

従来の作陽教育カリキュラムを見直し、来年度より、進学コースや総合教養コース(IT情報・フードデザイン・こども保育)など、中学生から人気のある魅力的な分野を取り入れた新しい6つのコースを設置し、岡山県北・津山・美作・真庭から、より多くの受験生・専願生・入学生を募集していきます。全国レベルで活躍する部活動の実績を背景に、専願生・寮生を募集していきます。また、生徒数確保を第一に考えた上、高校3年間に支出する奨学金総額の削減を目標とした昨年度までの生徒募集要項を見直し、今年度は、より優秀な生徒の確保と更なる奨学金削減を盛り込んだ制度に変更しました。新しい学校案内と生徒募集要項をはじめ、中学校訪問や塾訪問、年間3回のオープンスクールや各種説明会、HP等を通じて、作陽の魅力を知り徹底させていきます。

「松田理事長先生「生徒募集についての研修会」」でのお話でも、「創設者松田藤子先生の教え「報恩随想編」」を拝読しても、「日々の教育活動で、生徒や保護者が感動し満足していること。作陽教育が、卒業後の人生に、よい影響を与え続けていること。建学の地である岡山県北、津山地域に貢献する高校(学園)となっていること」それが作陽繁栄の肝であり、作陽の存在価値だと感じました。

ソフト面に加えハード面においても、積極的なRevolution&Development[改革と発展]に取り組み、「どうしても作陽に入学したい」という生徒が集う、永久に輝く魅力ある地域一番校を目指す作陽高校にご期待下さい。今後とも、皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

一人ひとりの可能性を伸ばす
新しい6つのコースが誕生

- 特別進学コース
- 進学コース
- 総合教養コース
- IT情報・フードデザイン・こども保育
- スポーツコース
- 英語・健康科・ゴルフ
- ミュージックコース
- 音楽デザイン・吹奏楽・演劇芸術

第3回 Open School 11月23日(日)
入試資料請求書・申請書等のダウンロード
※お申し込み 電話 0868-23-2188
<http://www.sakuyo-h.ed.jp>

あなたの夢は何ですか?
作陽高校1年生に聞きました。

全国に通用する作陽教育カリキュラム
新しい6つのコース誕生!!!

- 特別進学コース
- 進学コース
- 総合教養コース
- IT情報・フードデザイン・こども保育
- スポーツコース
- 英語・健康科・ゴルフ
- ミュージックコース
- 音楽デザイン・吹奏楽・演劇芸術

岡山県立作陽高等学校

作陽Family [学園関係者・同窓生・保護者・在校生]のみなさまへ

受験は作陽、入学は作陽。

作陽高校にお任せください。

作陽高校渉外部 入試係
TEL0868-23-2188
FAX0868-24-7802
sakuyo@sakuyo-h.ed.jp

平成27年度
受験生
専願生
募集
中

来年度からの新制度に向けて

くらしき作陽大学附属幼稚園
副園長

妹島三絵



平成25年4月に開園いたしましたくらしき作陽大学附属幼稚園は、今年2年目を迎え、現在、1期生の4歳児31名と2期生の3歳児23名の全園児54名になりました。今年度は3歳児と4歳児の2学年になり、それぞれお互いに先輩・後輩となり、お手本になったり、手伝いをしたり、助けてもらったり、一緒に遊んだりしながら、異年齢児が学び合う楽しさや大切さを日々実感しながら子どもたちは成長しています。今年度も昨年度同様、異年齢児交流会や運動会、焼き芋会など折に触れ津山から作陽保育園の園児さんが来園してくださり、楽しい時間を共に過ごさせていただき、沢山学ばせていただいておりますことに心から感謝申し上げます。また、地域の幼稚園の園児さんたちとの交流会も経験させていただき、本当に嬉しい限りでございます。皆様方のお陰で、少しずつではございますが、充実し成長させていただいております事に感謝でございます。

正課でのヴァイオリンレッスンも毎週学年ごとに順番にそれぞれの子どもたちの状態に合わせて本当に優しく教えていただいております。決して嫌いになることが無い様、ヴァイオリンを通して園児たちに情操教育をしてくださっています。4歳児の中には既に姿勢よく得意な顔をしてきれいな音を奏でることが出来る園児もいます。もちろん個人差はありますが、

やりたくない時は決して無理強いすることなく、それぞれの園児にあわせて教えてくださいます。本物に触れながら楽しく学ぶことで、3年間を通して豊かな心が少しずつ、そして確実に育っていくことを確信しております。

月1回のお茶とお花も続けることに意味があります。ささやかな事でも、続けていけば形になってきて、所作も少しずつ学んでいきます。お菓子をいただいたり、お運びをしたり、先生に点てていただいたお抹茶をいただくその姿は本当に可愛らしく、その小さな手で茶碗を大切にそっと扱うことが出来るようになりました。そして、お花のお稽古では、オアシスに活けるお花にもそれぞれ個性が出てきて、見ていて実に楽しくなります。お花の長さ、高さ、バランスも皆それぞれで、先生にご指導いただきながら自分で考えて活けたお花を、どの子どもも自信に満ちた表情で嬉しそうに見せてくれます。

週1回の正課の英語の授業でも、4歳児はとても楽しく学んでいます。先生手作りの工夫された教材を使っの熱心な授業で子どもたちは確実に成長しています。

また、平成27年4月1日からの子ども・子育て支援新制度施行に伴い、当園は幼保連携型の認定こども園に移行いたします。来年度は3歳児・4歳児・5歳児の3学年が初めて揃う年度ですが、同時に0歳児・1歳児・2歳児の受け入れも始め、認定こども園としてスタートいたします。それにより、今までの幼稚園に保育園も兼ね備えることとなります。今までと変わりなく、一人一人を大切に幼児教育と保育を行いながら、今より更に内容を充実させ、質の向上に努めて、認定こども園として地域の皆様方の需要に応えられる園になるよう、職員一同気合いを入れて準備を整えて参ります。今後とも皆様方の更なるご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



ヴァイオリン
レッスン

英語の授業

お茶とお花



運動会

作陽保育園との交流

園児交流会

鶴声会だより

鶴声会近況報告

鶴声会会長 井端 豊実



10月11日に同窓会鶴声会総会を開催しました。台風の接近も心配されましたが、多くの皆様に遠路お越しいただき、盛大に終了することができました。

特に印象に残ったのは、事業報告の内容で、各地域で同窓会事業（イベント）を実施するにあたり、多くの卒業生の協力をいただき盛大に開催されていることを大変嬉しく思いました。

総会終了後 Drum&Brass Corps "MUSICA" の演奏の披露、昨年開園した附属幼稚園の見学、山下静江食文化学部長による講演をいただきました。この日は大学祭も開催しており、参加された皆様に併せてお楽しみいただきました。

懇親会では皆様から多大なるご支援や今後の活動の糧にな



るご意見もいただき、同窓会もますます活動の幅が広がるのではないかと感じました。



今年も教員採用試験合格の吉報が同窓会にも届いています。岡山県、広島県、香川県、高知県、沖縄県などの各地にて中学校教諭、高等学校教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭など、多岐にわたっています。

作陽と言えば音楽の指導者、食の指導者、子どもの指導者、「作陽は多くの指導者を輩出していますね」と、いろいろな地域の方々から声をかけていただけるようになりました。これも卒業生の方々による、地元での活躍が、後輩たちの道を広げていただいた賜物だと感じています。どうぞこれからも後輩たちのためにも同窓会活動のご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

翠会だより

島根支部総会に出席して

翠会会長 元吉 恵子



翠会会員みなさま、こんにちは！ いかがお過ごしでしょうか。それぞれの職場でまた、ご家庭におかれましてますますご健勝のことと拝察いたします。

去る、平成26年7月6日(日)に島根支部総会が、縁結びの神様で名高い出雲大社のある出雲市で開催され、平野副会長、菊井顧問、事務局の水島さんと出席いたしました。支部会員42名の出席の下、学歌斉唱に始まり役員改選が行われ、石原和美支部会長から水野美晴新支部会長他新役員体制へとバトンタッチされました。会員の手作り作品の展示や懇親会での「こんなことしています！」では、脳の活性化？に大いに役だったと思われる手遊びをご指導いただいたり、歌をうたったりと賑やかな会となりました。私たち来賓用にと、ご用意くださった折り紙の「バラの花」。支部総会をお世話してくださった方のきめ細やかなお心遣いが伝わって参りました。恩師の堤博子先生と吉田一成先生もご出席くださり、同じ津山の地で学んだ日々を振り返り、親しく語り合いながら楽しい時間を過ごすことが出来たのではないのでしょうか。島根支部の皆様、ありがとうございました。この紙面をお借りして御礼申し上げます。

同窓会の今一つの目的は、卒業生相互の親睦にあると思

ます。そのためには、卒業生同士の相互連絡が重要になって参ります。事務局としましても支援体制を整えていくよう心がけてゆきたいと考えております。尚、今後とも同窓会への変わらぬご支援とご協力をよろしく願いいたします。



昭和39年保育科卒業の中路賞江さんから

同期会開催の便りが届き、「京都での2日間は、まるで50年前にタイムスリップしたかのようにとても楽しいひと時でした。」とありました。



作陽高校同窓会だより

校歌の由来と意義

高校同窓会副会長 山下 亨

母校は母なる学校です。在校生たちが進学やスポーツに青春を賭け、卒業生たちがスポーツ界、芸術文化界、実業界、教育界など多方面で活躍する姿は同窓生たちの元気の源です。母校サッカー部は11月9日岡山県大会で優勝し山陽新聞紙上に「作陽 王座奪還」の見出しが躍りました。全国高校サッカー選手権大会に22回目の出場です。初戦は12月31日（フクダ電子アリーナ）。同窓会（玉置俊作会長）は関東支部とも連携して2年ぶりの全国大会必勝を応援します。



NHKテレビニュース

11月11日付け朝日新聞は平成5年3月卒業の岸本齊史氏の記事で覆われました。同氏は連載漫画「NARUTO」の作者で全世界で2億冊以上が発行されており、この度連載が700回で完結した由。同紙2面の「ひと」欄に同氏が詳しく紹介されているほか、同32面全面に世界的なクールジャパン・ブームを作ったこと、同33面全面にはインタビュー記事が掲載されています。平成2年4月に入学した作陽生が正義と道徳観の高い超一級の漫画家に……。校訓「念願は人格を決定す 継続は力なり」を地でいく岸本氏は同窓生の誇りです。



さて、卒業生たちのバックボーンは「校訓」と「校歌」です。いずれも他校の誰も真似ることのできない私学作陽の独自のことば（絶対価値）であり、母なる作陽、松田藤子先生の教え・人生の道しるべです。この校歌の作詞者は芳賀莞爾先生（国文学者）ですが、作詞の由来と意義について、松田隼人先生がくらしき作陽大学・作陽音楽短期大学の「報謝の集い」の法話の中でご披露されておられますので、ここにご紹介しておきます。

それによると、校歌は、昭和38年のある日、校長室で松田藤子校長先生が芳賀先生といろいろと議論されて作られたもので、この歌には藤子先生の言葉、思い出、教育意図、宗教的情操教育などが全て織り込まれており、まさに「藤子先生のことばと心を編纂したもの」（松田隼人先生）です。

歌詞一番の「鶴山古城に〜」のポイントは「吉井の川」です。昭和9年9月に大谷校舎が吉井川の大洪水に遭遇し校舎に閉じ込められた28名の寮生全員が津山市民の命がけの救助作戦により救われたことへの「報恩感謝」の念が込められています。二番の「山なみ遠く大空に〜」のポイントは「久遠の理想」です。久遠の理想は「御仏の教え」であり、御仏の教えを称えて理知とわざを研いてほしいという藤子先生の願いです。三番の「五濁の海は荒くとも〜」のポイントは「不動の信念」です。五濁の海すなわち複雑怪奇な人生を何があっても逞しく生きてほしいという藤子先生の願い（励まし）が込められています。四番の「おお名ぐわしき作陽の〜」のポイントは「真実と愛」。真実の教えと敬愛、藤子先生の真髓です。この校歌をサッカー全国大会や甲子園で歌いたいものです。



ところで、関西支部（下谷義友支部長）西地区同窓会は平成26年10月25日（土）に姫路に20名の参加者が集まり開催されました。5月に傘寿を迎えなお慶賀たる多胡恭太郎先生、故松田昌守先生のご長男の松田正典先生（広島大学名誉教授）、高校から神田教頭先生をお迎えし藤子先生の思い出話などの話題で盛り上がり懇親を深めました。

在学生の声

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学の在学生に、作陽で学んでいることやこれからの目標についてインタビューしました。

短期大学音楽学科



金谷 佑実

ピアノ専修/2年

愛媛県立北条高等学校 出身

音楽講習会でレッスンを受け、今の先生に習いたいと思い入学しました。私の学生生活は2年間なので、何事も積極的に挑戦することを意識しています。主科のピアノだけでなく、木管、金管楽器の伴奏、アンサンブルの伴奏での本番や、jazz ピアノでの本番など、様々なジャンルで音楽を学んでいます。また、高校時代から親しんでいるトロンボーン奏者としても、学内のサークルで活動しています。

食文化学部



山本 麻未

栄養学科/3年

香川県立高松西高等学校 出身

私は管理栄養士になるために講義で知識を得て、実習を通して必要な技術を身につけています。印象に残っている授業は栄養教育論実習です。管理栄養士は人に栄養教育を行います。その前に自分の食生活を整え、コントロールしていかなければなりません。この授業では3日間、ライフコーダーを装着し、食事記録と生活時間調査を行うことで自分の生活を見つめ直すことができました。

子ども教育学部



難波 あおい

小学校 特別支援学校コース/2年

岡山県立新見高等学校 出身

特別支援の授業では、障がいを持つ児童にどのように関わればよいかなど具体的かつ丁寧に指導をしてくださり、学校の教師に必要なことをしっかり学ぶことができています。また、座学だけでなく、実際に小学校や特別支援学校へ行き、先生の授業の仕方や児童への対応などを見せていただき学んでいます。また、児童と関わる機会を増やすために、学習の手助けなどのボランティアにも取り組んでいます。

演奏会・公開講座等のご案内

12月

December 2014

- 20日(土)** (開演)14:00 **第2回Music Incubation in 玉島**
 ■第2回作陽音楽コンクール入賞者による演奏会
 ■会場: 玉島市民交流センター 漢ホール ■入場料: 無料 (要整理券)
- 21日(日)** (開演)14:00 **第42回作陽パーカッショングループコンサート**
 ■打楽器専修生による演奏会
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 500円
- 23日(火)** (開演)19:00 **2014 作陽ファカルティコンサートVI**
長瀬敏和 サクソフォンリサイタル
 ■長瀬敏和准教授によるサクソフォンリサイタル
 マスランカ/ソナタ、山下耕司/綾の舞い (新作初演) 他
 ■会場: 藤花楽堂
 ■入場料: 一般: 2,000円 (当日: 2,500円) 高校生以下: 無料

1月

January 2015

- 13日(火)** (開演)18:45 **金管室内楽研究発表会**
 ■金管室内楽履修生による研究発表会
 ■会場: 聖徳殿 ■入場料: 無料
- 14日(水)** (開演)18:45 **ピアノ伴奏演習後期発表会**
 ■ピアノ伴奏法履修生によるアンサンブルやソリストとの共演
 ■会場: 1-125 ■入場料: 無料
- 20日(火)** (開演)19:00 **第3回作陽弦楽合奏団定期演奏会**
 ■作陽弦楽合奏団による第3回定期演奏会
 ■会場: 聖徳殿 ■入場料: 無料
- 20日(火)** (開演)18:45 **金管合奏研究発表会**
 ■金管合奏履修生による研究発表会
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 無料
- 21日(水)** (開演)18:45 **モスクワ音楽院特別演奏コース学内公開演奏会IV**
 ■音楽学部モスクワ音楽院特別演奏コースの学生による演奏会
 ■会場: 聖徳殿 ■入場料: 無料
- 23日(金)** (開演)18:45 **室内楽 (Pf) 研究発表会**
[MILESTONE CONCERT Ver. 冬]
 ■室内楽履修生によるピアノアンサンブル
 ■会場: 聖徳殿 ■入場料: 無料
- 23日(金)** (開演)18:45 **第9回音楽デザイン専修作品発表会「ミライヘノトビラ」**
 ■音楽デザイン専修生によるオリジナル音楽DVD作品発表会
 ■会場: 藤花楽堂スタジオ ■入場料: 無料
- 25日(日)** (開演)14:00 **ウインド・フィルハーモニー特別演奏会**
 ■本学吹奏楽団「ウインド・フィルハーモニー」による特別演奏会
 ■指揮: 宮川彬良、小林恵子
 ■会場: 藤花楽堂
 ■入場料: 一般2,000円(当日2,500円)、学生1,000円(当日1,500円)
- 26日(月)** (開演)18:45 **室内楽 (Pf) 研究発表会**
 ■室内楽履修生によるピアノデュオコンサート(重利門下)
 ■会場: 聖徳殿 ■入場料: 無料
- 27日(火)** (開演)18:45 **室内楽 (Sax) 研究発表会**
 ■室内楽 (Sax) 履修生による室内楽研究発表会
 ■会場: 聖徳殿 ■入場料: 無料

2月

February 2015

- 8日(日)** (開演)14:00 **2014 作陽ファカルティコンサートVII**
渡邊康雄 退任記念ピアノリサイタル
 ■渡邊康雄教授によるピアノリサイタル
 ■会場: 藤花楽堂
 ■入場料: 一般: 2,000円 (当日: 2,500円) 高校生以下: 無料
- 10日(火)** (開演)18:30 **重唱・合唱研究発表会**
 ■重唱・合唱履修生による研究発表会
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 無料
- 11日(水)** (開演)15:30 **後期オペラ発表会**
 ■オペラ演習の発表会
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 無料
- 13日(金)** (開演)14:00 **大学院ハーフリサイタル**
 ■大学院1年次によるハーフリサイタル
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 無料
- 13日(金)** (開演)未定 **第8回作陽混声合唱団定期演奏会**
 ■作陽混声合唱団による定期演奏会
 ■会場: 漢ホール ■入場料: 未定
- 14日(土)** (開演)14:00 **作陽音楽短期大学デザイムミュージック&吹奏楽演奏会**
 ■作陽音楽短期大学在学およびOBによるソロ、アンサンブル、吹奏楽の演奏会
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 無料
- 19日(木)** (開演)14:00 **大学院修了演奏会**
 ■大学院生による修了演奏会
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 無料
- 20日(金)** (開演)14:00 **大学院修了演奏会**
 ■大学院生による修了演奏会
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 無料
- 22日(日)** (開演)14:00 **大学院修了演奏会**
 ■大学院生による修了演奏会
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 無料
- 25日(水)** (開演)18:45 **第18回作陽ホルンアンサンブル定期演奏会**
 ■ホルン専攻生によるアンサンブル演奏会
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 無料

3月

March 2015

- 7日(土)** (開演)17:00 **ALL☆STAR Brass Band 第15回定期演奏会**
 ■金管楽器と打楽器だけで構成している金管バンドの演奏会
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 500円
- 8日(日)** (開演)14:00 **2014 作陽ファカルティコンサートVIII**
菅付章宏 オーボエ室内楽の調べ
 ■菅付章宏准教授によるオーボエを中心とした室内楽の演奏会
 ■会場: 聖徳殿
 ■入場料: 一般: 2,000円 (当日: 2,500円) 高校生以下: 無料
- 10日(火)** (開演)19:00 **作陽トロンボーンアンサンブルコンサート**
 ■トロンボーン専攻生によるアンサンブルコンサート
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 前売500円 (当日: 800円)
- 14日(土)** (開演)13:00 **平成26年度卒業・修了演奏会**
 ■平成26年度卒業・修了する成績優秀者による演奏会
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 無料
- 15日(日)** (開演)13:00 **平成26年度卒業・修了演奏会**
 ■平成26年度卒業・修了する成績優秀者による演奏会
 ■会場: 藤花楽堂 ■入場料: 無料

都合により日程、出演者等、内容が変更になる場合がございます。
 最新情報はお電話又は大学ホームページにてご確認ください。



《お問い合わせ先》

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学

演奏芸術センター086-523-0822 FAX.086-436-0283

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515 E-mail sakuyo.kikaku@ksu.ac.jp

http://www.ksu.ac.jp/



メールマガジン配信開始!

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学のQRコードで簡単登録!

演奏会・公開講座等の最新のイベント情報やお得な情報をいち早くお届けします。

SAKUYOメルマガ会員募集中

PCからはこちら! <https://j.blany.jp/bm/p/f/ff.php?id=sakuyokikaku>



作陽音楽短期大学に幼児教育専攻新設

◎ 気になる施設の見学や体験授業で、大学の雰囲気を知らるチャンス

Open Campus 2015

春のオープンキャンパス

要予約

3/25 [水]
13:00~16:00

資料請求・お問い合わせは



0120-911-394



nyushi.sakuyo@ksu.ac.jp



くらしき作陽大学

オープンキャンパス
お申込みはこちら▼



入試日程

詳しくは本学
ホームページを
ご覧ください。

一般Ⅰ期入試

出願期間 **1/6** [火] ~ **1/21** [水]

◎音楽学部/音楽短期大学
2/1 [日] ~ **2** [月]

◎食文化学部/子ども教育学部
2/1 [日] ~ **2** [月]

一般Ⅱ期入試

◎音楽学部/音楽短期大学
3/2 [月] ~ **3/17** [火]

◎食文化学部/子ども教育学部
2/9 [月] ~ **2/19** [木]

◎音楽学部/音楽短期大学
3/24 [火]

◎食文化学部/子ども教育学部
2/27 [金]

センター利用Ⅰ期、Ⅱ期入試

(食文化学部・子ども教育学部のみ)

◎Ⅰ期
出願期間 **1/13** [火] ~ **2/9** [月]

◎Ⅱ期
2/27 [金] ~ **3/13** [金]

試験日 個別試験は課しません

くらしき作陽大学

作陽音楽短期大学

やっぱり
作陽に決めた!!



校舎から眺める津山鶴山城跡の桜が私たちに応援しています

平成27年 2月3日(火) 作陽1次入試について

岡山県北・津山から より多くの受験生・専願生・入学生を募集しています。

■ 作陽入試のコンセプト

基礎学力重視
県立高校入試問題準拠の学力検査

中学校でのがんばりと
個性と可能性を重視する個人面接

作陽に決めた!
作陽で夢を叶える専願受験者を優遇

保護者の皆様の経済的負担を軽減
各種奨学生制度充実

■ 平成27年度入試関係全日程について

	1次入試	2次入試
出願期間	1月21日(水)~1月23日(金) 【最終日正午必着】	2月17日(火)~2月19日(木) 【最終日正午必着】
試験日	2月3日(火) [AM8:40~]	2月24日(火) [AM8:40~]
会場	本校会場:岡山県作陽高等学校 真庭会場:久世エスパスランド	本校会場:岡山県作陽高等学校
合格発表	2月9日(月)	2月26日(木)

■ 各コース毎の入試内容

スーパー特進コース 特別進学コース 進学コース	●学力検査(国語)・[英語]・[数学] (各45分)の3教科 ●個人面接 ●調査書
総合教養コース スポーツコース ミュージックコース	●学力検査(国語)・[英語]又は[数学] (各45分)の2教科 ●個人面接 ●調査書



ワンランク上の充実感と満足度をあなたとともに
岡山県作陽高等学校

http://www.sakuyo-h.ed.jp

平成27年度
専願生
募集中

学園報に関するお問い合わせは

作陽学園事務局

学園報担当(企画係)

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515
tel 086-523-0822 / fax 086-436-0283
Eメール sakuyo.kikaku@ksu.ac.jp